熊笹の遺言（2002）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 60分
初公開日 2004/05/29
公開情報 CINEMA塾

【解説】
政府や世間の病気に対する無理解から、長年に渡って不当な強制隔離と差別、偏見に苦しめられてきたハンセン病患者。2001年、裁判でようやく国の政策の誤りと人権侵害が認められた今日、改めて悲劇の歴史を振り返り現在の元患者たちの素顔を見つめるドキュメンタリー。新人の今田哲史監督が日本映画学校の卒業製作として撮り上げた作品。
ハンセン病違憲・国賠訴訟の全面勝訴から１年、群馬県草津町にある栗生楽泉園では今も250人以上が暮らしている。裁判のリーダー的存在だった谺雄二さんもこの園に暮らす元患者の一人。現在は、ここを誰もが自由に出入りする開かれた場所にしたいと、この療養所を総合医療福祉施設にするための活動を続けている。浅井あいさんは、長年連れ添った夫を４年前に亡くす。盲目のあいさんは、故郷金沢にいる目の不自由な少年と文通を始める。50年ほど前から絵を描き続けている鈴木時治は、視力が失われてゆく中、亡き妹への想いを描き続ける…。

【クレジット】

監督	今田哲史
製作総指揮	原一男
プロデューサー	原田芙有子
撮影	剣持文則
編集	今田哲史
	原田芙有子
録音	大池正芳

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.